

「住みたい田舎」であり続ける観光・交流・定住・安住・共生の恵那ライフ — ENA遺伝子の継承と伝達 —

持続可能な
恵那ライフの
構築

恵那の自然とひとに受け継がれた豊かなくらしの遺伝子を未来に継承し、全国・全世界に伝達するため「たべる」をテーマに、観光・交流から定住、さらに安住、共生へとつながる恵那ライフを実現することを目指し、地域内外の多様な主体との連携・体制を構築し、自然との共生・循環型社会の構築・自律的な地域自治等のSDGsの取り組みを推進します。

恵那市
四つの政策の柱から

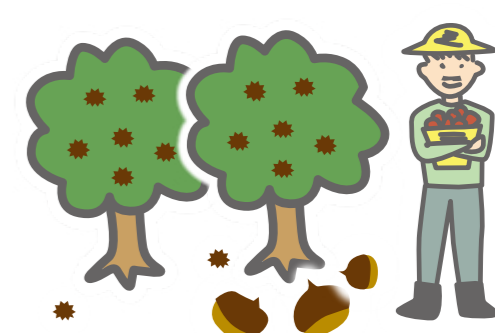
はたらく

テーマは

たべる

くらす

まなぶ



将来ビジョン

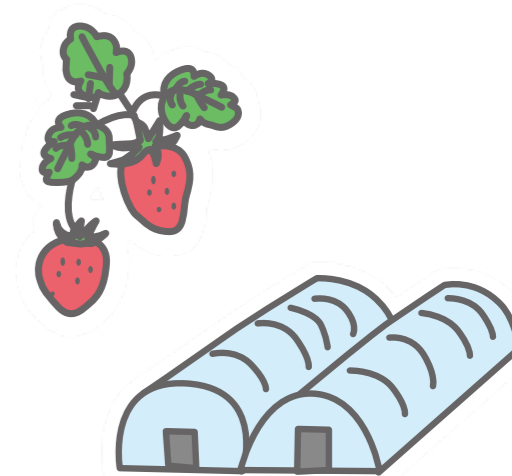
2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット

恵那の自然とひとに受けつがれたくらしの遺伝子(ENA)の継承・伝達

経済 地域経済循環の基盤とした観光・交流による関係人口の拡大

社会 自律・分散ネットワークによる定住・安住・多世代共生の充実

環境 資源循環とカーボンニュートラルによる自然との共生の継承



自治体SDGsの
取組



自治体SDGsの取組

経済 観光・交流による関係人口の拡大

★地域資源を活かした農林業・観光の振興
★豊かな自然と高速交通を活かした関係人口の拡大

社会 定住・安住・多世代共生の充実

★健康ライフの充実と持続的教育による安住の確保
★自律的な地域自治体の経営と地域交通の充実

環境 自然との共生の継承

★自然環境の保全と資源循環の確立
★自律的なエネルギー供給の拡大

Action



情報発信

域内向け 広報誌でSDGsに関する取り組みを毎月掲載。SDGs推進協議会による発信、拠点におけるイベントの実施。

域外向け ビジネスサポートセンターや、食と農のポータルサイトたべる及びジバスクラム恵那のサイトAeruの活用、観光・移住等に関するメディアの活用。

海外向け 世界ラリー選手権の開催等に合わせた発信。ポーランド・台湾等へも発信。



推進体制

各種計画への反映

- ★第2次恵那市総合計画(後期基本計画)及び第2期恵那市まち・ひと・しごと総合戦略に反映。
- ★恵那市たべる推進計画、恵那の森林づくり実施変更計画、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)、第2次環境基本計画(後期)、恵那市産業振興ビジョン、第2期恵那市ICT活用推進計画に反映。

行政体内部の執行体制

- ★恵那市SDGs推進本部を設置(市長を本部長に、副市長、教育長、各部長で構成)
- ★企画部局にSDGs推進室を置き、事業担当部局と連携してSDGs推進チームを編成。
- ★進捗管理への助言のためのSDGs推進懇談会を設置。

ステークホルダーとの連携

- ★恵那市SDGs協議会を2023年1月に設立(市内事業所、団体等との連携により構成)
- ★岐阜県が設置した「清流の国ぎふ」SDGsネットワーク、県内SDGs未来都市、中部大学恵那SDGs拠点との連携
- ★協定締結企業との連携

自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

- ★本計画に賛同し、「SDGs未来行動プラン」を作成して実践行動に取り組む事業者、団体を登録する制度を創設。
- ★登録事業者等に対し、企業版ふるさと納税を財源とした助成・技術的支援、連携金融機関による融資により支援。
- ★エーナ健康ポイントをベースに市民のSDGs行動を見える化し、自主的な取り組みを促すインセンティブを充実。

